

# 平成27年度 認定子ども園 源氏ヶ丘幼稚園 情報公開シート

## はじめに

源氏ヶ丘幼稚園は平成27年度から満3歳以上の幼児で構成する幼保連携型認定こども園となりました。28年度から1・2歳の乳幼児を受け入れるべく、保育室や調理室を整備するため、27年度下半期において、2棟ある園舎のうち1棟を建替えるという大工事を行いました。これに伴い、1棟に保育室を集中させたり、仮設建屋にトイレを設けなければならなかったり、園庭が極めて狭くなってしまうと、普段の幼稚園とは全く違った環境の中で保育を進めなければならず、子どもたち、保護者様に随分ご迷惑を掛けることになり、我々教職員は園児の安全を確保したり、教育や保育のレベルを維持するために様々な工夫を迫られた一年でありました。この激動の一年を振り返り、教職員の自己点検、自己評価を実施し、関係者評価として保護者代表の方々(クラス役員)にその点検結果を評価していただきましたので、以下に公表いたします。

## 1. 本園の教育目標

幼稚園という集団の中で人同士ぶつかり合い、学び合い、子ども達が人として幅広く、たくましく生きてゆくための力を育む。何事にも前向きにあきらめずに最後まで取り組める強い精神力、自主自立の精神(智)、感謝、思いやり、規則を守る心(情)、丈夫な体とやり抜く体力(体)のバランスよい成長を育む。知識を広め、季節の移り変わりに伴う自然の変化(気象の変化も含めて)にも気付き、その原理についても考える。

## 2. 自己点検・自己評価の結果

表1. 平素から取り組んでいる基本的な保育活動、園運営に関する項目についての自己点検・自己評価

| 点検・評価項目 |                   |                                                                        | 達成度の自己評価※ |
|---------|-------------------|------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 1       | 保育の内容、園児への対応      | ・年間の指導計画、週案、日案をしっかり立てて教育に当たった。                                         | A         |
| 2       |                   | ・一人ひとりの子供の個性や成長をよく観察し、子どもの気持ちを汲み取りながら保育した。                             | A         |
| 3       |                   | ・毎日行う基本活動にも楽しんで取り組めるよう工夫した。                                            | A         |
| 4       |                   | ・子供がそれぞれの活動に目標を持ち、達成できるように褒めたり、励ますよう援助した。                              | A         |
| 5       |                   | ・季節の行事、お誕生会などの催しについて、子どもの反応などの基づいて、プログラムの改善などに積極的に取り組んだ。               | A         |
| 6       |                   | ・トラブル等に関し、適切に園長、副園長に報告や相談をした。                                          | A         |
| 7       |                   | ・健康診断などの健康管理を実施し、異常のある場合には適切に保護者に伝えた。                                  | A         |
| 8       |                   | ・常に向上心を持ち、自身のレベルアップに努めた。                                               | A         |
| 9       | 保護者との連絡やコミュニケーション | ・積極的にコミュニケーションをとり、子供の様子や成長などをよくお知らせできた。                                | A         |
| 10      |                   | ・病気などで園児が休んだ場合の連絡などきめ細かく対応できた。                                         | A         |
| 11      | 預り保育              | ・安全で快適な環境で子供たちを預ることができた。                                               | A         |
| 12      | 教職員としての資質         | ・心のこもった挨拶や、品格と節度の有る言葉遣いや立ち居振る舞いができた。                                   | A         |
| 13      |                   | ・時間や期限、約束を守り、プロとして信頼される行動をとることができた。                                    | A         |
| 14      | 職員間の連携            | ・行事や企画の内容、協力要請を適切に伝え、事後には互いに感謝の気持ちを伝えることができた。                          | A         |
| 15      | 上司との連携            | ・行事や企画の内容、協力要請を事前に適切に伝え、事後には結果の報告をし、協力を受けた場合には感謝の気持ちを伝えることができた。        | A         |
| 16      | 安全・衛生             | ・教室や廊下、下駄箱の清掃に努めた。常に通路等に障害物が置かれていないか、万一の時の避難路の確保ができているかなどの意識をもって行動できた。 | A         |

※A(できている)、B(ほぼできているがやや改善の余地あり)、C(改善すべき点多い)、D(できていない)

※評価方法: 各人の評価を点数に換算(A=4点、B=3点、C=2点、D=1点)して集計し、平均点が3.5超えを”A”、2.5超えを”B”、1.5超えを”C”、それ以下を”D”としました。つまり、AとBの評価に分かれた場合、過半数がAと評価していると全体評価が”A”となります。したがって、”A”は必ずしも完璧を意味するものではありません。

表2. 重点的に取り組んだ目標、計画

| 項 目 |               |                                             | 改善計画に取り上げた理由                                                                                                                                          |
|-----|---------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 教職員としての<br>資質 | ・教員自らの技能レベルの向上を目指す                          | 音楽や絵画、製作、体育遊びなど、教員がレベルの高いお手本となって一緒に取り組むことが、子供たちにとって、より豊かな環境を提供できると思われるため                                                                              |
| 2   |               | ・園児一人ひとりの特性を把握し、良いところや得意なところをさらに伸ばせるよう援助する。 | 園児たちが能力を発揮する場面は千差万別であり、苦手とする分野もしかりである。上手に挨拶ができた、片づけが早くできた、跳箱が前より1段高く跳べた、など気付いた場面ですっかりほめてあげるにより意欲が高まり、さらに上達を目指すであろうし、苦手な分野にも頑張る気持ちが出てくるのではないかと期待されるから。 |
| 3   |               | 研修や講習会に積極的に参加し、得た情報などを職員で共有して保育の質の向上を図る。    | 経験年数の短い職員には園内研修で技能を高めることもできるが、外部の専門家の行う講習などに参加し、知識や応用力を養うことが大切と考えるため。                                                                                 |
| 4   |               | ・作業の効率化を考え、一日の時間を有効に活用する                    | 省略することのできない打合せ会議などの時間を確保するには、清掃や当日の日誌のまとめ、さらには翌日の保育準備の効率化が求められるため。                                                                                    |
| 5   | 保育の内容、園児への対応  | 園庭利用の効率化や、遊びの工夫、近隣公園の利用を計画する                | 11月からの園舎改築工事により、園庭が従来の3割ほどしか利用できなくなったため、クラス間、学年間の連携をより深め、発表会の練習や平素の体育ローテーションの実施方法の変更(ホールの利用、頻度の調整、内容の検討)、近隣にある公園の利用などについての計画の必要があったため。                |

表3. 上記重点目標の達成のために取り組んだ具体的内容及び達成度の自己評価

| 項 目 |     | 具体的な取組内容および結果など                                                                                                          | 達成度の自己評価※ |
|-----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 1   | 上記1 | 歌唱や木琴演奏について、園内研修や音楽講師等による指導、および本人の努力により着実なスキルアップが図られていると思われる。                                                            | B         |
| 2   | 上記2 | 登降園の挨拶時や体育ローテーション、絵画や製作、劇遊びや楽器の練習などの場面で、いいな、上手と感じたときは思いっきり褒めることに心がけた。                                                    | A         |
| 3   | 上記3 | 園内研修あるいは支部や総合幼児研究会で行う研修会(保育実技、心のあり方、製作や音楽、発達障害など)、姉妹園が行う運動会や発表会への参加頻度を高め自らの保育に活かすことができた。                                 | B         |
| 4   | 上記4 | 子ども達がクラスにいない時間帯を使って清掃や整頓したり日誌の記録を行う。保育で用いる教材等の準備を早めに取り掛かり、段取りを考える。                                                       | A         |
| 5   | 上記5 | クラス間、学年間の連携を深め、発表会の練習や平素の体育ローテーションの実施方法の変更(ホールの利用、頻度の調整、内容の検討)を行い、効率的な園庭の利用に取り組んだ。また、近隣にある公園の利用頻度を高め、園児たちの遊びの場を作ることに努めた。 | B         |

※A(できている)、B(ほぼできているがやや改善の余地あり)、C(改善すべき点多い)、D(できていない)

### 3. 今後取り組む必要があると思われる課題・その他希望など

|   |                                                                                                                          |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 2階建屋: 認定子ども園への移行後、平成27年度夏から建替え予定 ⇒ 3階建てに改築し、給食調理室、保育室(主に1歳、2歳、5歳児)、職員室を設けます。<br>3階建屋: 上記工事と平行して改修し、耐震性の強化や排煙設備等の改善を行います。 |
| 2 | 廊下や窓、教室の床の清掃強化など                                                                                                         |
| 3 | 収納スペースを広げて欲しい(体育用具、運動会用具、発表会衣装などの収納)                                                                                     |
| 4 | 各部屋のおもちゃなどに破損したものが無いかのチェックを(安全のため)                                                                                       |
| 5 | 避難訓練の回数をもっと増やす                                                                                                           |
| 6 | 欠席の連絡や源ちゃんクラブの連絡を漏れなく担任や係りに伝える                                                                                           |

### 4. 学校関係者評価委員会の評価

#### 【総合評価】

教職員評価委員会が行った平成27年度に関する自己点検・自己評価については、その「評価対象項目」「評価結果」並びに「今後取り組む課題」について、学校関係者評価委員会から賛成多数で「適正」であるとの評価を頂きました。

## 【評価の詳細】

評価委員数 ⇒ 18名【年少保護者：6名（回答6名） 年中保護者：6名（回答6名） 年長保護者：6名（回答6名）】

【設 問 1】 学校評価委員会が実施した「平成27年度自己点検・自己評価」の結果、ならびに「今後取り組むべき課題」に対し、下記の該当する番号に○を付け、評価の理由やご意見、ご要望があれば記入下さい。

## 【評価結果】

1. 適切であると判断します ⇒ 17/18票、白票 1

理由、ご感想、ご提案など

- ・ 園舎改築工事で園庭が狭くなるなど、制限される事が多くあった中でも、こどもたちへの安全の配慮や日常の対応も細かく見てくださいました。
- ・ 子供達を細やかに観察してくださっているのだと実感しました。
- ・ 工事は園にとっては長い年月の中での1年かもしれませんが、年長の子どもにとっては最後の大切な1年です。園と保護者の気持ちに差があつて少し残念でした。
- ・ 自己点検の項目が多岐にわたっていることから分かりますが、先生方は色々な場面で全力で子どもに関わってくれているのだと感じます。園見学をされた保護者の方々が、数ある幼稚園の中から源氏ヶ丘幼稚園を選ぶ理由が分かります。職員の方々の挨拶や笑顔が最高だと思います。
- ・ 園での子どもの様子(健康状態も含めて)をきめ細かく伝えていただけたと思います。よくみていただいて感謝しています。歌や木琴演奏についても、小学校を上回るレベルで、先生も園児も努力しているなど感じました。
- ・ 工事でいろんな場面で変更を余儀なくされているのに、よく工夫をしていただいて、笑顔で子供に接してくださいました。
- ・ 送迎の際や行事、役員会の際に、どの先生も気持ちよく挨拶をしてくださり、いつもにこやかで園の雰囲気がとても良いと感じています。参観のとき、家に持ち帰った製作物を見るとき、子供が家で口ずさむ歌を聞くとともに、先生方が日々工夫され、保育の内容の充実を心がけて保育して下さっていることがよく伝わってきます。

2. 以下の理由によりやや不適切な部分があると判断されるので、改善を求めます ⇒ 1/18票

理由、改善点、ご意見など

- ・ 一部の先生がしっかり挨拶できていないように感じました。

【設 問 2】 園運営に関する全般的な感想、ご提案など

ご提案、ご要望、ご感想

- ・ 年長児は新しい園舎の完成を見ずに卒園します。是非卒園児にも内覧会を実施してください。
- ・ 厳しさの中に愛がある源氏ヶ丘幼稚園で学べたこと本当に良かったと思います。
- ・ 工事が完了して、今まで以上に良い幼稚園になったらいいと思います。
- ・ 建替え工事の関係で使える教室数が減ったため、一クラスの人数が増えて参観などに支障があったと思います。
- ・ 様々な設定保育をしてくださっているのでも時間的に余裕もすくないのかと思いますが、子ども一人ひとりがもっと絵本などを手にとって読めるような時間があるといいなと思いました。
- ・ 認定子ども園になってPTAの役員に2号認定のお母さんも選出されていますが、仕事をもちながらなので大変だと思います。役員の負担がもう少し軽くなるようにできればいいと思います。
- ・ 年中の子ども達は、1クラスが30人になって、一人の担任では十分に子どもを見ることができていないと思います。
- ・ このような自己点検の機会は、先生にとっても、保護者にとっても有意義なことだと思います。先生も人間なので場面場面でいろんな感情も持つだろうし、人によっても感じ方は変わるように、すべての職員が同じでなくてもいいと思います。愛情を持って、これからも教育・保育に宜しく願います。
- ・ 工事で園庭が制限されている中であつて、子供たちを公園に連れ出して遊ばせてくれたり、廊下も使って体育活動をするなど、色々工夫してくださり大変だったと思います。来年度は新しく1・2歳の保育室も増え、課題も出てくるかとは思いますが、保護者として協力していきたいと思っています。
- ・ 子供が喧嘩などで相手にケガをさせたときは相手の名前を教えてください、ケガをさせられたときは相手の名前を教えてくださいと聞かれないのはなぜですか？（園からの回答：大変難しい問題ですが、必ずそのようにしている訳ではなく、ケガの原因や程度によって配慮しています。原因がなかなかはっきりしない場合があります。また園で起きたことは、園の責任でもあります。両者の保護者様に伝えるタイミングも考えなければなりません。先に、させられた側に相手方のお名前を伝えてしまうと、相手からお詫びなどのお話しが出る前に、一方的に被害者としてお話しが行ってしまうことも考えられますので、慎重に取り扱っています。）

## おわりに

源氏ヶ丘幼稚園の教職員が行った平成27年度の自己点検、自己評価の結果を、学校関係者評価委員会(クラス役員の方々18名)に評価していただきました。評価結果は上記のように、「教職員の自己点検、自己評価の結果は、適切である」と評価していただきました。また、感謝のお言葉や、課題、ご要望もたくさん頂きました。真摯に受け止め、更なる向上に努めてまいります。

園舎建替え工事は無事終了いたしました。建物自体の竣工が4月末にずれ込み、園庭や外構の完成は5月末となってしまいました。工事の期間中は、遊びの場である園庭の利用が大きく制限され、園児たちと保護者の方々には、本当にご迷惑をお掛けし、ただただ申し訳なく、ご辛抱いただいたことに心から感謝申し上げます。

また、27年度に年長さんであった園児たちは、一度も新しい園舎に入ることも無く、そこで調理された給食も食べることもできずに卒園されました。役員様のご要望にありましたように、「卒園児に是非とも内覧会を」とのご要望に応えるべく、28年6月の土曜日に卒園児と保護者の方々をご招待して、自園調理の「唐揚げ」でミニパーティーを開催しましたところ、殆どの卒園児が参加してくださり、本当に楽しいひと時がもてました。

すでに平成28年度も下半期に入りました。新しく始まった1・2歳のクラスにも活気がでてまいりましたし、おいしい自園調理の給食も人気です。建替えなかった園舎の方もすべての建具を入れ替え、耐震性も確認しましたので、幼稚園全体が安全で綺麗な建物となりました。まだまだ至らぬ点多々あるかとは思いますが、日々研鑽をして、温かい愛情をもって今後ともしっかりと保育を実践してまいります。

なお、評価結果の公表が大変遅くなりましたことお詫びいたします。

平成28年10月23日 園長 寺田 芳規